

SUMCO株主通信

第20期 期末

2018年1月1日～2018年12月31日

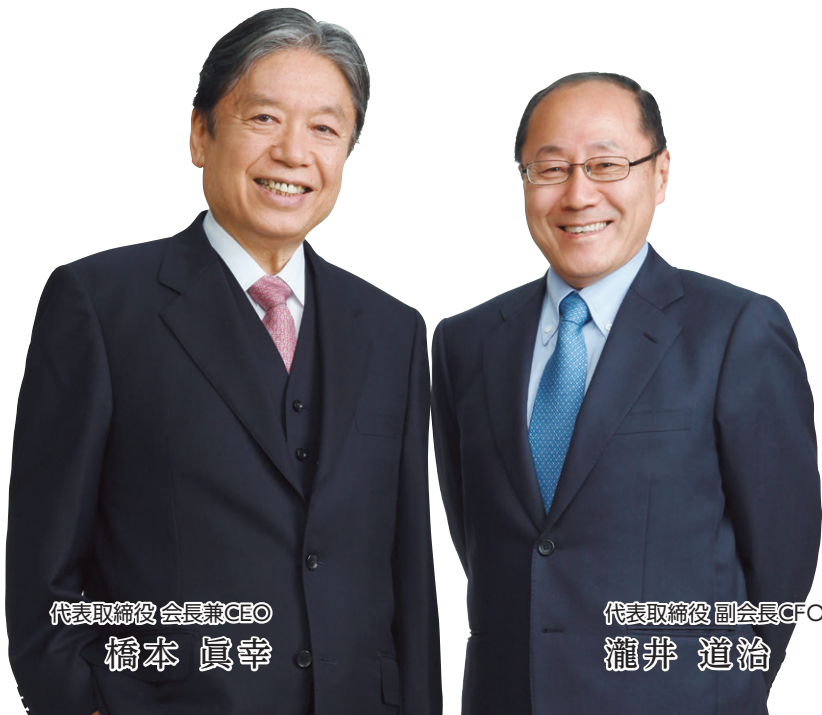


INDEX

- 01 ごあいさつ
連結業績ハイライト
- 03 特集:自動車の技術革新と車載用
半導体向けシリコンウェーハの成長
- 05 市場環境と業績見通し
- 06 会社情報・株式情報・株主メモ

SUMCO

証券コード 3436



代表取締役 会長兼CEO
橋本 眞幸

代表取締役 副会長CFO
瀧井 道治

株主の皆様には日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2018年の半導体シリコンウェーハ市場は、IoTの浸透、クラウドコンピューティング・人工知能(AI)の進展により、サーバー・データセンター向けや自動車・産業向け等の半導体需要に支えられ、各口径とも需要が伸びました。

このような環境のもと、当社は「SUMCOビジョン」の方針に基づき、半導体用シリコンウェーハの高精度化や製品の差別化に対応した技術開発により、顧客での高いプレゼンスを維持するとともに、価格適正化により更なる損益基盤の強化に努めてまいりました。一方、顧客からの増量要求に対しては、生産性の向上により対応いたしました。

足元の世界の半導体用シリコンウェーハ市場は、最先端スマホやデータセンター向けは調整局面ではありますが、パワー半導体・センサーおよび車載向けは堅調と予想しております。このような市場環境のもと、当社グループでは、引き続き最先端技術開発の推進による製品の差別化を図ってまいります。また、中期的には通信量の伸びに伴いデータ

センターの拡大や新たな5G市場の創出による需要増が予想されることから、価格適正化を前提とした段階的な設備増強により顧客要求に応えてまいります。

2018年12月期の期末配当につきましては、当期における利益水準、将来の見通し、設備投資に係る資金需要および内部留保の状況等を総合的に勘案し、1株当たり32円、通期では62円と決定いたしましたのでご報告します。

今後とも倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 会長兼CEO 橋本 眞幸

株主の皆様には平素より当社へのご理解とご支援を戴き厚く御礼申し上げます。

当期の業績は、シリコンウェーハの旺盛な需要のもと、全工場の高稼働操業が継続するとともに、ウェーハ価格の値戻しが進捗したことで、前年比で大幅な増収増益となりました。

一方で、多結晶シリコンの長期契約の早期解約終了により特別損失を計上しましたが、懸案でありました

原料在庫の早期圧縮と今後の品質高度化への対応が可能となりました。同時に将来の収益確実性が認められたことにより繰延税金資産の計上が可能となり、業績予想を上回る親会社株主に帰属する当期純利益を確保することができました。

また、当期は300mm高精度ウェーハの増産を主体として年間592億円の設備投資を実行しましたが、好調な収益にもとづくキャッシュフローにより160億円の有利子負債削減を実現できました。

このような結果、財務体質は改善され、D/Eレシオは0.5倍となり目標の0.5倍以下を達成することができ、自己資本比率は前年比3%増加の48.4%となり、目標の50%にいま一歩のところまでできました。

当社は今後も半導体市場における高精度ウェーハ需要を確実にとらえるため、都度判断しながら設備増強を着実に実行するとともに、先端品開発や技術向上を図り、一層の競争力向上、収益力確保に努力してまいります。

今後とも引き続き株主の皆様のご支援、ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 副会長CFO 瀧井 道治

SUMCO VISION

1. 技術で世界一の会社

2. 景気下降局面でも赤字にならない会社

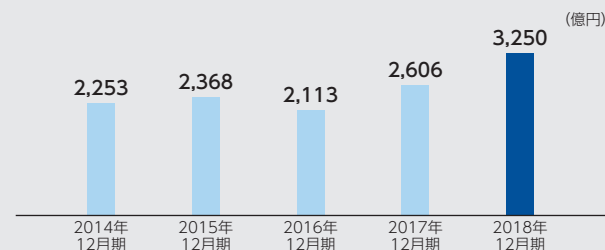
3. 社員が生き活きとした利益マインドの高い会社

4. 海外市場に強い会社

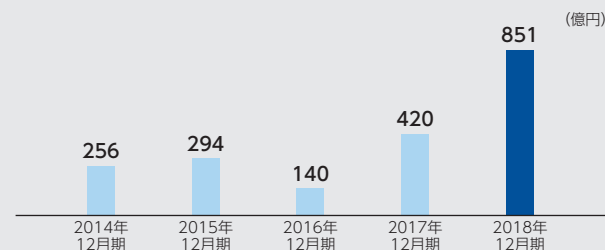
連結業績 ハイライト

(注) 日本会計基準。グラフ中の数字は億円未満切り捨て。

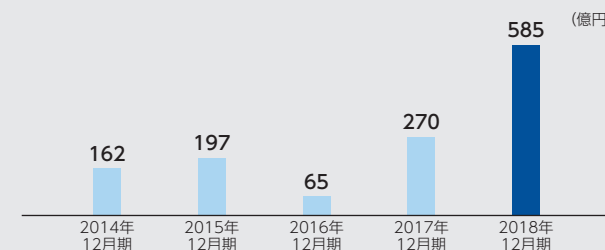
売上高



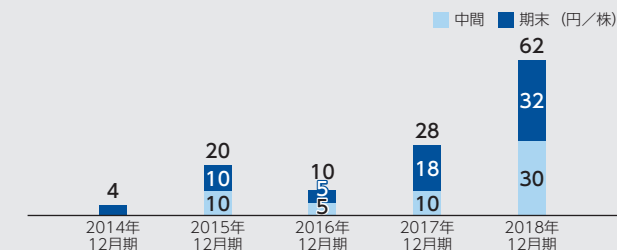
営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



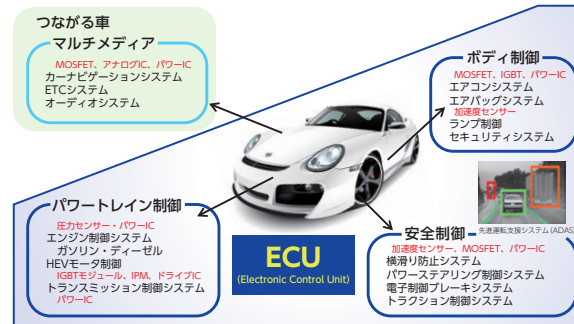
1株当たり配当金



自動車の安全・環境に対応

自動車は、環境の変化・安全性能向上にしたがい、ハイブリッドエンジンや、EV(電気自動車)、先進運転支援システム(ADAS:Advanced Driver-Assistance Systems)研究・開発が進んでいます。その技術を支えているのが車載用半導体で、車1台当たりの半導体の搭載数が飛躍的に増加しています。

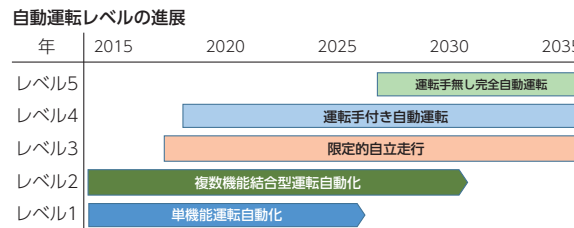
図1. 自動車に使われる半導体が増加しています



自動運転の進展

死亡事故ゼロ・渋滞緩和・移動時間の有効活用を目指して、自動運転の開発が加速されています。現在、自動車専用道路において自動走行できるレベル3が一部で開始され、自立運転を目指したレベル4以降の実用化実験が進められています。

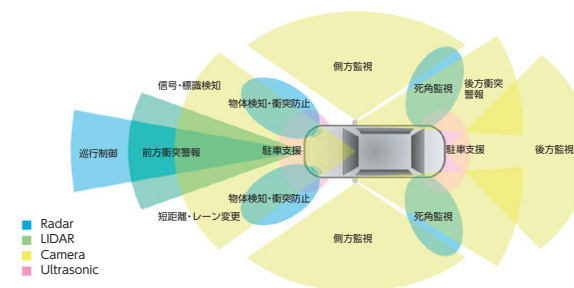
図2. 自動運転技術が進展します



自動車のための半導体

自動運転の実現には、自動車を取り巻く情報を前後左右から収集するために、多量の半導体センサーが必要となります。自動運転のレベルが上がると、より多くの半導体センサーが搭載されるようになります。半導体センサーで集めた多くのデータを最先端半導体で高速に処理し、的確な判断で車両を制御し、我々を安全に、快適に目的地へ届けます。

図3. 様々なセンサー技術が自動運転技術を支えます



車載用半導体は、様々な運転環境の下で、万が一にも不具合を起こさないよう最重要保安部品として厳しい評価検査が実施されます。その半導体の基板となるシリコンウェーハも各車載用半導体メーカー、自動車メーカーによる厳しい認定を受け合格し、10年間の供給義務が課されます。

SUMCOのシリコンウェーハは高い品質を評価され世界中の車載用半導体メーカーに採用されています。

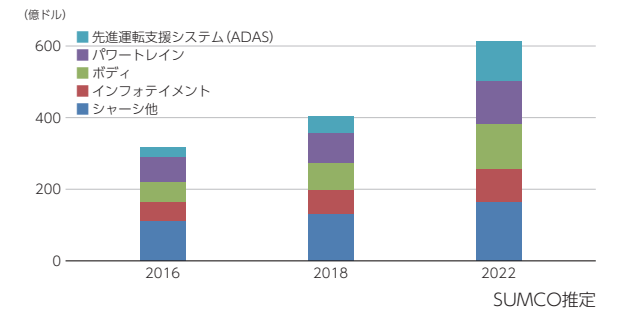
車載用半導体市場は伸びる

今後の車載用半導体のトレンドを図5に示します。2016年から2022年に向けて車載用半導体市場は、用途別金額ベースで1.9倍強になると予想しております。特に安全運転への意識の高まりや各国での法規制などにより、安全制御・自動運転に関係した先進運転支援システム(ADAS)の用途は伸びが大きく、対応車種も広がり、確実に期待できる用途分野といえます。

図4. 完全自動運転(イメージ図)



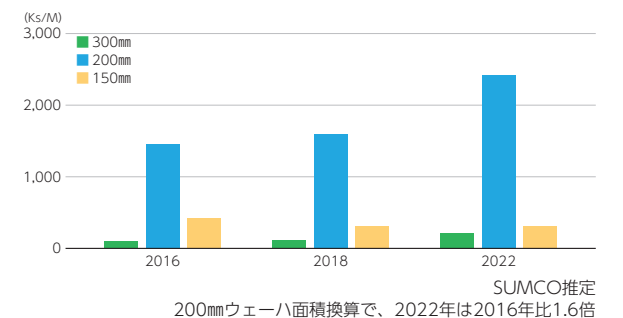
図5. 車載用半導体市場推定(用途別)



車載用半導体向けウェーハ需要予測

図6にある通り、車載用半導体向けシリコンウェーハは、徐々に300mm化が進みますが、当面の主体は200mm製品で、ウェーハ全体の需要は、2016年と比較して2022年に、1.6倍に伸びると想定しています。SUMCOは、車載用半導体向けのシリコンウェーハ供給を通して、車社会の未来に貢献してまいります。

図6. 車載用半導体向けウェーハ需要推定





市場環境と業績見通し

2018年度
(1-12月)
市場環境

2018年度の半導体用シリコンウェーハ市場は、各口径ともに強い需要が継続しました。
300mmウェーハは、通信量の伸長に伴い、データセンター向けメモリーや高性能ロジックデバイスなどが牽引しました。200mm以下の小口径ウェーハについても、車載向けなどが牽引し、底堅い需要が継続しました。

2018年度
(1-12月)
事業成績

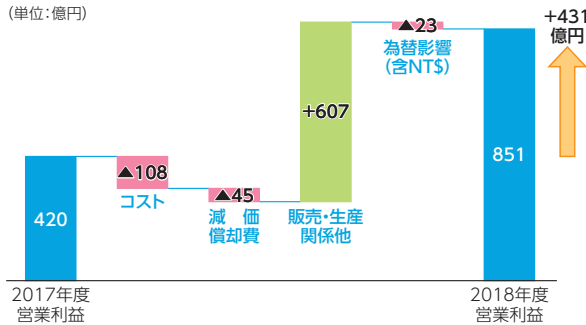
このような環境のもと、当社グループでは、「SUMCOビジョン」の方針に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により顧客での高いプレゼンスを維持するとともに、需給逼迫状況下での生産性の向上、および価格適正化による損益の改善に努めてまいりました。
この結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高3,250億円、営業利益851億円、経常利益830億円、親会社株主に帰属する当期純利益585億円となりました。

今後の見通し
2019年度
1Q(1-3月)

2019年度1Q(1-3月)における世界の半導体用シリコンウェーハ市場は、センサー・車載向けは堅調なもの、最先端スマホや産業・民生向けなどは需要の調整局面になっています。
このような市場環境のもと、2019年度1Qの業績見通しについては、為替レートを110円／ドルとし、下表の通り予想しています。

営業利益増減分析(2017年度→2018年度)

	(単位:億円)		
	2017年度	2018年度	増減
売上高	2,606	3,250	+644
営業利益	420	851	+431
為替 (円／ドル)	112.3	110.5	▲1.8



2019年度1Q(1-3月期)連結業績予想

項 目	2018年度4Q 実績(10-12月)	2019年度1Q 予想(1-3月)	増減
売上高	(億円) 826	850	+24
営業利益	(億円) 209	190	▲19
経常利益	(億円) 203	180	▲23
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(億円) 159	130	▲29
1株当たり四半期純利益 (円)	54.3	44.3	▲10.0
為替レート (円／ドル)	113.4	110.0	▲3.4

注)業績予想等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報、および、合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。



会社情報

会社概要(2018年12月末時点)	
商号	株式会社SUMCO
本社	〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーパンスN館 Tel : 03-5444-0808 https://www.sumcosi.com/
設立年月日	1999年7月30日
資本金	138,718百万円
従業員数	連結8,017名 単体3,855名
IRお問い合わせ先	広報・IR室 : 03-5444-3915

取締役(2018年12月末時点)			
代表取締役	会長兼CEO	橋 本 眞 幸	
代表取締役	副会長	瀧 井 道 治	
代表取締役	社長兼COO	降 屋 久	
代表取締役	副社長	平 本 一 男	
取締役	専務執行役員	井 上 文 夫	
取締役	常務執行役員	阿 波 俊 弘	
取締役(常勤監査等委員)		吉 川 博	
取締役(常勤監査等委員)		片 濱 久	
取締役(監査等委員)		田 中 等 *	
取締役(監査等委員)		三 富 正 博 *	
取締役(監査等委員)		太 田 信一郎 *	
取締役(監査等委員)		不 破 章 雄 *	

* 社外取締役(独立役員)

株式情報

株式情報(2018年12月末時点)	
発行可能株式総数	804,000,000株
発行済株式総数	293,285,539株
総株主数	90,668名

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	Tel : 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株主メモ



事業年度	毎年1月1日から12月31日まで		
定時株主総会	毎年3月開催		
基準日	定時株主総会議決権行使株主確定日	毎年12月31日	
	配当金支払株主確定日	期末配当金	毎年12月31日
		中間配当金	毎年 6月30日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日		
単元株式数	100株		
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページ(https://www.sumcosi.com/)に掲載いたします。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。		
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部(証券コード:3436)		

ホームページのご案内

当社は多くの株主・投資家の皆様にご利用いただけるよう、ホームページの充実を図っております。決算関係資料やニュースリリースなどのほか、当社が製造するシリコンウェーハについての情報なども掲載しております。ぜひご利用ください。

SUMCOホームページ <https://www.sumcosi.com/>

- 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会
- 証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお手続きおよびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。
 - 証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記電話照会先までご連絡ください。

■ 単元未満株式の買取請求について

単元(100株)未満株式の買取請求につきましては、株主さま口座のある証券会社にお申し出ください。
(証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。)

For All Innovation

半導体の進化が世の中を変える

時代を変え、風景を変え、あなたと私のこれからを変える

次の100年、半導体でどう変わるだろうか

シリコンウェーハは半導体テクノロジーの根源

半導体の進化が未来を創る

SUMCO

株式会社SUMCO

〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館

Tel:03-5444-0808

<https://www.sumcosi.com/>

見通しに関する注意事項

本資料に記載された予測・予想・見込み・その他の将来情報および将来推定は、現時点で当社が利用可能な情報および一定の前提または仮定（当社の主観的判断に基づくものを含みます。）に基づくものです。

実際の業績などは、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向、その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報および将来推定と大きく異なる可能性があります。



環境保護のために、
大豆インクを
使用しております。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。